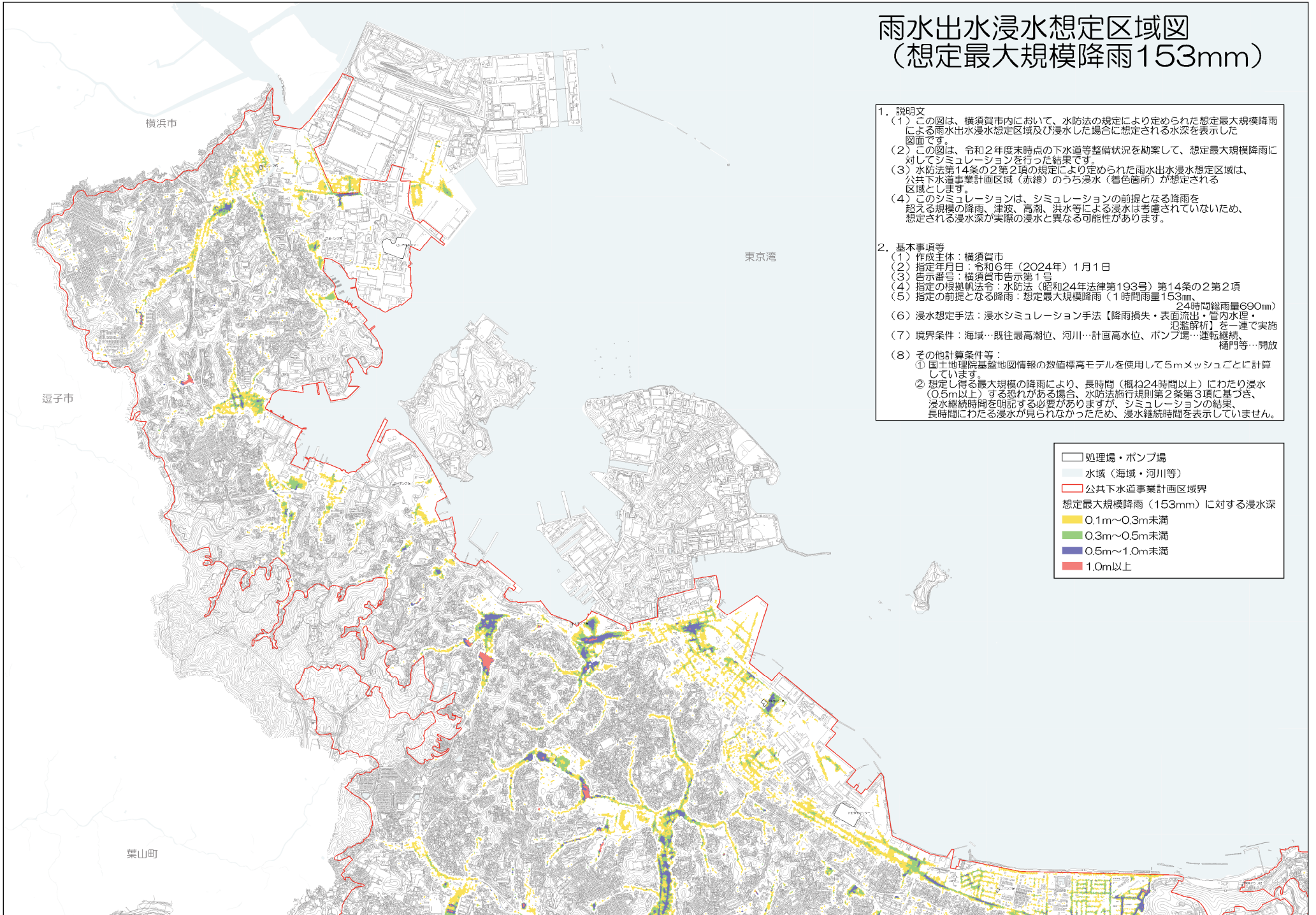


雨水出水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨153mm)



1. 説明文
(1) この図は、横浜市市内において、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による雨水出水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2) この図は、令和2年度末時点の下水道等整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に対してシミュレーションを行った結果です。
(3) 水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道事業計画区域（赤線）のうち浸水（着色箇所）が想定される区域とします。
(4) このシミュレーションは、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水等による浸水は考慮されていないため、想定される浸水深が実際の浸水と異なる可能性があります。
2. 基本事項等
(1) 作成主体：横浜市
(2) 指定年月日：令和6年（2024年）1月1日
(3) 告示番号：横浜市告示第1号
(4) 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
(5) 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量153mm、24時間総雨量690mm）
(6) 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法【降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析】を一連で実施
(7) 境界条件：海域…既往最高潮位、河川…計画高水位、ポンプ場…運転継続、樋門等…開放
(8) その他計算条件等：
① 国土地理院基礎地図情報の数値標高モデルを使用して5mメッシュごとに計算しています。
② 想定し得る最大規模の降雨により、長時間（概ね24時間以上）にわたり浸水（0.5m以上）する恐れがある場合、水防法施行規則第2条第3項に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、長時間にわたる浸水が見られなかったため、浸水継続時間を表示していません。